

ホタテガイ採苗速報

一部地域で産卵が始まりました

平成27年2月17日～20日に湾内8地点で養殖2年貝の成熟度調査を、2月19日に東湾2地点で地まき貝の成熟度調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均で21.5、全湾平均では21.2と、前回(それぞれ24.5、23.2)よりも減少し、東湾平均では21.1と、前回(22.2)よりもやや減少し、一部地域で産卵が始まった模様です(図1～2)。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は18.3と、平年(19.3)よりもやや減少し、一部地域で産卵が始まった模様です(図3)。各地の測定結果は表2のとおりです。

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 2月20日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部 重量(g)	軟体部 指数	生殖巣 重量(g)	生殖巣 指数
蓬田村	2月17日	10.2	107.9	47.8	44.3	11.8 (11.5)	24.3 [25.1]
青森市奥内	2月20日	11.1	134.0	49.1	36.6	10.3 (10.4)	20.7 [25.4]
久栗坂実験漁場	2月17日	10.8	141.3	64.0	45.3	12.5 (14.7)	19.5 [23.1]
平内町茂浦	2月17日	9.6	84.0	37.0	44.1	6.2 (10.2)	16.8 [17.5]
西湾平均		10.7	127.7	53.6	42.1	11.5 (12.0)	21.5 [24.5]
野辺地町	2月19日	10.7	141.4	69.2	49.0	13.9 (17.9)	20.1 [20.1]
むつ市	2月19日	9.2	96.2	45.0	46.7	9.3 (11.9)	20.6 [21.3]
川内町	2月19日	9.7	104.1	50.1	48.2	10.9 (13.5)	21.8 [21.0]
川内実験漁場	2月17日	10.6	134.8	63.6	47.2	13.8 (15.1)	21.7 [26.2]
東湾平均		10.1	119.1	57.0	47.8	12.0 (14.6)	21.1 [22.2]
全湾平均		10.3	122.8	55.5	45.3	11.8 (13.3)	21.2 [23.2]

(): H5-H26の平年値
[]: 前回の値
※平内町茂浦: 参考値

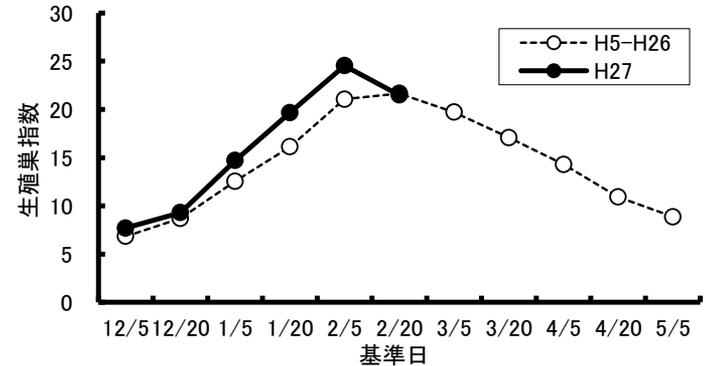


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

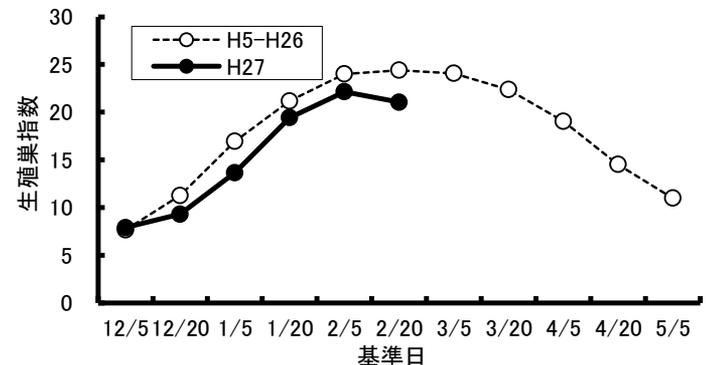


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

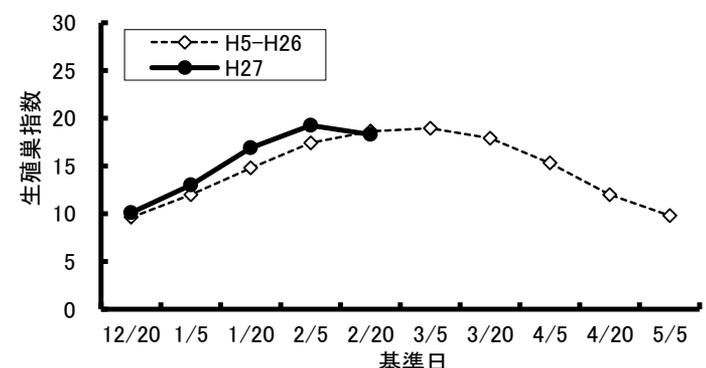


図3 地まき貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

表2 地まき貝の測定結果(調査基準日 2月20日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部 重量(g)	軟体部 指数	生殖巣 重量(g)	生殖巣 指数
野辺地町	2月19日	9.1	73.1	34.9	47.7	5.5	15.7 [17.7]
むつ市	2月19日	11.2	151.0	72.7	48.1	15.2 (11.1)	20.9 [20.8]
東湾平均		10.2	112.1	53.8	47.9	10.4 (10.4)	18.3 [19.3]

(): H5-H26の平年値
[]: 前回の値
※川内町: 調査対象貝を放流できなかったため除外

2 海況

各ブイの2月16日～22日の平均水温は表3のとおりです。平年と比較すると、平館ブイと東湾ブイの15m層でいずれも平年並みとなっています。

3 今後の見込み

一部地域で産卵が始まりました。今後も水温の昇温刺激があると、産卵がさらに進みますので、ラーバの出現状況及び採苗器投入時期については、今後の情報を参考にしてください。

また、親貝の生殖巣重量は、西湾では平年並みですが、東湾では平年より低い値であることから、貝1枚当りの産卵数が平年より少なくなる可能性があるため、効率よく稚貝を確保するために採苗器を例年よりも多めに準備してください。

4 その他

ホタテガイ採苗速報は、昭和42年発行以来おかげさまをもちまして通刊600号となりました。今後ともご協力よろしく申し上げます。

表3 各ブイの1週間(2/16～2/22)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	7.9～8.7	野辺地ブイ	5.4～5.6
奥内ブイ	7.2～7.3	東湾ブイ	4.5～5.2
青森ブイ	-	浜奥内ブイ	3.6～3.8

-: 欠測

広がる海の知識!
身につける新たな技術! 漁業後継者育成研修『賓陽塾』
塾生募集中!! 詳しくは水産総合研究所 ほたて貝部まで